

総合的な学習の時間 指導案

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

①主題名 「オリエンテーション」(1/10)

②本時のねらい

地域の良さや特色について理解する。単元の見通しや身に付けたい力を知る。

③指導過程

	学習活動	◆指導上の留意点 ◇評価(評価方法)
つかむ 8分	1 クイズ①を出題する ・ひと、もの、ことより1問ずつ出題。 2 本時のめあてを確認する 単元の見通しをもつことができる	◆写真の一部分を見せ、興味を沸かせる。 ◆本時の学習の流れを確認する。
深める 27分	3 クイズ②③を出題する ・ひと、もの、ことより2問ずつ出題。 4 ○○町の良さ、特色を紹介する ・○○町観光情報動画を視聴。 ・紹介した以外に○○町の自慢があれば発表させる。 5 単元の見通しを持たせる ・単元のゴール、学習計画を確認する。 ・身に付けたい力を確認する。 見つける力 (自分で課題を見つけ、解決する方法を見つける力) かかわる力 (情報を集めるために、何かと関わろうとする力) (仲間と交流する力)	◆写真の一部分を見せ、興味を沸かせる。 徐々に難易度を上げる。 ◆町外にも同様なものがあれば、それは自慢とは言えないことを確認する。 (例 ファーストフード、チェーン店) ◆ゴールまでの過程を提示する。 かだいせつ定 → じょうほう収集 → 整理・分せき → まとめ・表現 → 振り返る
まとめる 8分	6 本時を振り返る ・授業の感想を書く。 7 次時の学習を知らせる	◆書けない児童は、初めて知ったこと、考えたこと、興味が湧いたことの中から一つ想起させる。 ◇課題の解決に向けて学習の見通しを立てている。【知識・技能】 (ワークシート)

④板書計画

○○の自まん発見プロジェクト
めあて

単元の見通しをもつことができる。

○○の自まん

ひと

写真

写真

もの

写真

写真

こと

写真

写真

単元のゴール

○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○

この単元で身に付けたい力

見つける力

かかわる力

学習計画

1 かだいせつ定

↓

2 じょうほうしゅう集

↓

3 整理・分せき

↓

4 まとめ・表現

↓

5 ふりかえり

総合的な学習の時間 指導案

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

①主題名 「地域の発展に携わる方々の話を聞こう」(2/10)

②本時のねらい

〇〇町の自慢に携わる方の思いを知る。

③指導過程

	学習活動	◆指導上の留意点 ◇評価（評価方法）
つかむ 5分	1 本時のめあてを確認する 〇〇の自まんにたずさわる ゲストの思いを知ることができる。 ・ゲスト入場。 2 ゲスト（〇〇さん）を紹介する	◆事前にワークシートの項目を確認させておく。
深める 30分	3 ゲストによる講話。（25分） ①自己紹介 ②なぜこの仕事をしているのか ③仕事内容 ④この仕事の苦労話、やりがい等 ⑤〇〇町を中心に活動している理由 ⑥ゲストから見た〇〇町の良さ（〇〇の自慢） ⑦子供たちに伝えたいこと 4 質疑応答（5分） ・ゲスト退場。	◆町外出身から見た〇〇町の良さ、〇〇町の自慢を話してもらう。 ◆話を聞く態度や質問する際の言葉遣い、講話内容に関係のある質問をすることを事前に伝える。
まとめる 10分	5 次時の学習を知らせる 6 本時を振り返る ・教室へ戻り、授業の感想を書く。	◇地域の良さや、地域の発展に携わる人々の思いを知ることができる。【知識・技能】（発言、ワークシート） ◆書けない児童は、初めて知ったこと、疑問に思ったこと、興味が湧いたことの中から一つ想起させる。

④板書計画

〇〇の自まん発見プロジェクト
めあて

〇〇の自まんにたずさわるゲストの
思いを知ることができる。

ゲストティーチャー
△△△△さん
しょく業

〇〇町を中心に活動しているわけ

ゲストから見た〇〇町のよさ

写真

総合的な学習の時間 指導案

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

①主題名 「〇〇の自慢に携わる町民の活躍を知ろう」(3/10)

②本時のねらい

〇〇町の自慢に携わる町民の活躍を知る。

③指導過程

	学習活動	◆指導上の留意点 ◇評価（評価方法）
つかむ5分	1 嘉手納自慢クイズを出題する ・人、もの、ことより1問ずつ出題。 2 本時のめあてを確認する 〇〇の自慢にたずさわる町民の活躍を知る。	◆写真の一部分を見せ、興味を持たせる。
深める35分	3 フォトランゲージ ・提示された写真から、気づきや発見等をたくさん書かせる。 写真 Aさん（飲食店 店長） Bさん（カヤック案内人） 4 二人の〇〇町に対する思いを紹介する ・〇〇町の素材（〇〇芋、〇〇川）の活用について。 ・〇〇町でお店を出している理由。	◆観察、記入の時間を十分にとる。（15分） ◆写真から分かること、想像したことを伸び伸びと何でも書かせ、すべて肯定的に受け取る。 例 季節、時間、場所、仕事内容、そこに写っている人々の気持ち ◆写真の二人が地元こだわっている理由を自分なりに考えさせ、〇〇町に対する思いを共感させる。
まとめる5分	5 本時を振り返る ・授業の感想を書く。 6 次時の学習を知らせる	◇地域の良さや、地域の発展に携わる人々の思いを知ることができる。【知識・技能】（発言、ワークシート）

④板書計画

〇〇の自まん発見プロジェクト めあて 〇〇の自まんにたずさわる町民の 活やくを知る。 フォトランゲージとは	フォトランゲージ達人への道 1 しつよりりょう 2 思ったことをすぐ書く 3 ひはんしない	〇〇の自まんにたずさわる本町出身者 写真 写真 地いきのそざい 〇〇町でお店を出している理由
--	--	---

総合的な学習の時間 指導案

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

①主題名 「学習テーマを設定しよう」(4/10)

②本時のねらい

〇〇町の自慢について、学習テーマを設定する。

③指導過程

	学習活動	◆指導上の留意点 他者と協働的に学習する場の工夫	◇評価 (評価方法)
つかむ 10分	1 本時のめあてを確認する ウェビングを使って 学習テーマを決めることができる。 2 ウェビングのやり方を説明する	◆『ウェビング達人への道』と題して、ルールを確認する。 ①1本の長い団子より、たくさんの短い団子 ②内容よりも数(質より量) ③批判しない ④順番を決め、一人1つずつ発表する	
深める 30分	3 ウェビングでイメージを広げて、学習テーマを設定する ①中心テーマを決める ②ウェビングでイメージを広げる ③完成したウェビングを分析する ・関連のある内容を線でつなぐ ・重要だと思う内容に印をつける ④調べたいテーマを設定する 	各グループでウェビングを実施する。 ◆大きく広がりすぎないように、中心テーマを「ひと」「もの」「こと」のいずれかを選択させる。 ◆ウェビングが広がらないグループは、「嘉手納のスズメ」(商工会発行)を活用させ、イメージを広げさせる。 ◆決まった学習テーマが地域の自慢にふさわしいか確認させる。 「他の市町村に、同様のものはないか？」 決まった学習テーマをホワイトボードに書き込み、全体場で発表する。	◇ウェビングの図を使い、思考を広げることができる。 【知識・技能】 【思・判・表】 (ウェビング図、観察)
まとめる 5分	5 本時を振り返る 6 次時の学習を知らせる	早く書き終えた児童は、隣のペアへ(またはグループ内で)発表する。	

④板書計画

嘉手納の自まん発見プロジェクト めあて (ウェビング)を使って学習テーマを決めることができる。	グループ学習でのやくそくごと 自分のいけんが通らなくてもふてくされない。 ↓ 決まったことは、みんなできょう力し、学習をすすめる。 ↓ かかわる力	しらべたいテーマ 1グループ ○○○ 2グループ ○○○ 3グループ ○○○ 4グループ ○○○ 5グループ ○○○ 6グループ ○○○ 7グループ ○○○ 8グループ ○○○
ウェビング 	ウェビング達人への道 ①1本のだんごよりも たくさんの短いだんご ②内ようよりも数 ③ひはんしない ④一人1つずつ書き入れる	

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

②本時のねらい

③指導過程

④板書計画

〇〇の自まん発見プロジェクト
めあて

()を決める。

ウェビング

テーマ

しらべる方法

インタビュー

電話

見学

インター
ネット

本
資料

電話、インタビューの達人への道

- ① しつ問したいことを、事前に決めておく。
- ② ていねいな言葉づかいを心がける。
- ③ 聞いたことはメモ書きで短くまとめる。
- ④ おれいをわすれない。

※ボードがあると書きやすい。

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

②本時のねらい

③指導過程

④板書計画

○○の自まん発見プロジェクト
めあて

()を集めることができる。

調べる方法

本
資料

インター
ネット

じょうほう集めの方法①
本、資料で調べる
自分の知りたいことが書かれている
本を上手に見つけるためには・・・

調べたいことを短い言葉にする

例えば
○○市のまちのようす
「○○市」「まち」（キーワード）

キーワードをたよりに本をさがすと、
自分の知りたいことが書かれている本
を上手に見つけ出すことができる。

総合的な学習の時間 指導案

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

①主題名 「学習計画を見直そう」(7/10)

②本時のねらい

学習計画を見直し、再構築を図る。

③指導過程

	学習活動	◆指導上の留意点 ◇評価（評価方法）
つかむ 5分	1 本時のめあてを確認する 学習計画を見直し、よりよいものにすることができる。	◆本時の学習の流れを確認する。
深める 30分	2 前時を振り返り、グループの学習テーマ、調べたいことを見直す 3 ウェビングで調べたいことの再構築を図る 4 各グループ決まったことを発表する	◆この学習テーマで良いか、調べたいことが〇〇の自慢に結び付いているか、情報収集できそうな内容か確認する。 ◆調べたいことが少ないグループは、学習テーマを大きくするようアドバイスする。 ◆〇〇の自慢に結び付く内容か意識させながら広げさせる。
まとめる 10分	5 本時を振り返る 6 次時の学習を知らせる	◇情報を収集したり、選択したり、整理したりしている【思・判・表】 （発言、ワークシート）

④板書計画

[illegible]

総合的な学習の時間 指導案

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

①主題名 「調べたい項目を考えよう①」(8 / 10)

②本時のねらい

調べたいことを整理する。

③指導過程

	学習活動	◆指導上の留意点 ◇評価 (評価方法)
つかむ 5分	1 本時のめあてを確認する 調べたいことを整理することができる。	◆本時の学習の流れを確認する。
深める 30分	2 K J 法を紹介する ・活用目的、利点、やり方を紹介する。 3 一人ひとり調べたいことや疑問を考え、付箋紙に書く 4 類型化のやり方を確認する ・同様の内容は重ねる。 ・書かれている内容からキーワードとなる言葉を1つ決めると、類型化しやすい。 5 各グループで付箋紙を類型化する	◆フォトランゲージ、ウェビングと違って、分析・整理に時間を要するので、2時間かけて行うことを伝える。 ◆前時のウェビングから見出した調べたいことを参考に、伸び伸びと思っていることを自由に書かせる。 ◆付箋紙 1 枚につき、1つの内容を書かせる。 ◆付箋紙の向きをそろえ、仲間分けしやすくさせる。 ◆模造紙の四つ角を利用し、類型化すると把握しやすくなることを伝える。
まとめる 10分	6 本時を振り返る 7 次時の学習を知らせる	◇グループの人と協力して話し合ったり、活動したりしている。【学び・人間】 (発言、ワークシート)

④板書計画

〇〇の自まん発見プロジェクト
めあて

() を整理することができる。

K J 法とは

考えた人の名前のイニシャルから命名
気づきや、疑問を整理し、かだいを明らかにしてくれる。

活用目的

調べたいこう目 (学習課題) を見つける

良い点

グループ全員の考えをまとめることができる

今日やること

K J 法① ふせん紙に書きこむ

- ・調べたいこと、疑問を書く。
- ・ふせん紙 1 まいに 1 つのことを書く。
- ・ふせん紙の向きをそろえる (横書き、はる部分が上)。

K J 法② 書いたふせん紙をグループわけする

- ・同じ内よりのふせん紙は重ねる。
- ・キーワードの言葉を決めると、グループを作りやすい。

総合的な学習の時間 指導案

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

①主題名 「調べたい項目を考えよう②」（９／１０）

②本時のねらい

〇〇の自慢につながる調べたい項目を決定する。

③指導過程

	学習活動	◆指導上の留意点 ◇評価（評価方法）
つかむ ５分	1 前時の振り返りを行う 2 本時のめあてを確認する 調べ学習の調べたいこう目を決める。	◆K J法のやり方を確認する。 ◆本時の学習の流れを確認する。
深める 30分	3 類型化したものにタイトルをつける ・付箋紙の周りをペンで囲む。 ・その下にタイトルを記入する。 4 類型化した表をもとに、調べたい項目（学習課題）を明らかにする ・8つ項目を選ぶ。 ・学習テーマの基礎知識は、必ず入れる。 ・他にはないここだけの良さを聴いてくる。 ・学習テーマに携わる人（インタビュー相手）から「みんなへ伝えたいこと」「課題や苦労」も聴いてくる。	◆タイトルがつけられない時は、キーワードの言葉をつけても良いことを伝える。 ◆〇〇の自慢につながる、町外の人を知りたいと思う項目を見出させる。 ◆調べ学習後、自分たちにできることを考えさせるためにも、学習テーマの課題についても目を向けさせる。 ◆学習テーマの良さ（〇〇の自慢）が伝わる項目を優先にするよう説明する。
まとめる ５分	5 本時を振り返る 6 次時の学習を知らせる	◇ウェビングの図を使い、思考を広げることができる。【知識・技能】【思・判・表】（表、ワークシート）

④板書計画

〇〇の自まん発見プロジェクト
めあて

調べ学習の（ ）を決める。

今日やること

K J法③ グループ化したものにタイトルをつける

- ・ふせん紙のまわりを ペンでかこむ。
- ・その下に タイトルを書く。

K J法④ 調べたいこう目を決定する。

- ・〇〇の自まんにつながるこう目をえらぶ。
- ・町外の人を知ってとくするこう目をえらぶ。

〇〇の自まん
学習テーマ「〇〇〇〇〇」〇グループ
調べたいこう目
①〇〇のきそ知しき（場所 等）
②他の〇〇にはない〇〇のよさ
③
④
⑤
⑥
⑦△△さんの苦ろうやかだい
⑧△△さんからみんなへ伝えたいこと
（おねがい）

総合的な学習の時間 指導案

単元名 地域の自慢 発見プロジェクト

①主題名 「調べ学習に向けての約束事」(10 / 10)

②本時のねらい

校外学習に向けての安全指導、見学先でのマナー指導をおこなう。

③指導過程

	学習活動	◆指導上の留意点 ◇評価 (評価方法)
つかむ 5分	1 本時のめあてを確認する 校外学習にむけてのやくそく事をかくにんする。	◆本時の学習の流れを確認する。
深める 35分	2 校外学習をする際の安全指導をする 3 校外学習計画書の書き方について確認する 4 校外学習計画を立てる	◆「校外学習にむけて 10 のやくそく事」を一つ一つ説明を入れながら確認する。 ◆相手の仕事に支障をきたさないよう、事前に連絡し、承諾を得てから見学することを確認する。
まとめる 5分	5 本時を振り返る 6 次時の学習を知らせる	◇グループの人と協力して話し合ったり、活動したりしている【学び・人間】 (発言、ワークシート)

④板書計画

嘉手納の自まん発見プロジェクト めあて 校外学習にむけての () 事を かくにんする。 校外学習で心かげること 安全 マナー きょう力	校外学習にむけて 10のやくそく事 ①お家の人へ、かならず「行き先」「学習内よう」「帰たく時こく」を知らせてから出発します。 ②安全に気をつけます。 ③自分の身は自分で守ります。「いかのおすし」 ④見学先では、まわりにめいわくをかけないような行動をとります。 ⑤すすんで あいさつを 心がけます。 ⑥インタビューをする場合は、相手のつごうに合わせます。 ⑦お金のかしかりは しません。 ⑧急に参加できなくなった時は、グループのメンバーへ連絡します。 ⑨校外学習をおえたら、より道せずに 家へ帰ります。 ⑩危けんな目にあったときは、すぐ親や学校、けいさつに連絡します。	校外学習計画書 ・学習日時は、各グループで そうだんして決める。 ・いんそつ者をつける。 (近場の場合は、自分たち だけでも OK) ・夏休み前までにてい出する。
--	--	---